

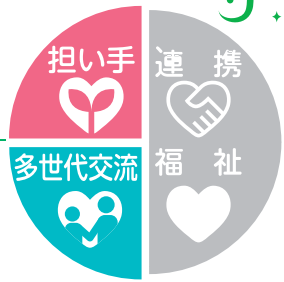
過去から未来へ祭囃子、獅子舞をつなげたい

六ツ川大池囃子 南区文化賑わい支援補助金

六ツ川大池 演奏：年7回程度

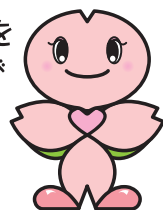
六ツ川大池囃子は、六ツ川大池地区で古くから伝わる祭囃子、獅子舞を地域で稽古したり、定期的に演奏式を披露したりすることで、地域の郷土芸能の伝承活動を行っている。明治中頃から昭和30年頃まで続いていた祭囃子を35年前に有志により復活させ、今では小学校3年生から80歳代までの25人で活動している。町内会館で週2回の稽古を行い、地域のお祭りや演奏会で成果を披露し、後世に郷土芸能を伝えている。また、傷んだ太鼓や獅子舞の修繕も行う。

今年度は初めてみなみ市民活動・多文化共生ラウンジの『みんなの「わっ!」フェスタ』へ参加し、日本人だけでなく外国人へも南区の郷土芸能を披露した。これからも楽しみながら伝承活動を続けたい、一緒に活動する仲間を募集中とのことである。



稽古は太鼓から始めて笛が吹けるようになるまでに、かなりの時間がかかります。文化芸能を継承する事に苦慮しております。お囃子の楽しさを多くの皆さんに知っていただくためにも披露させていただき場所を教えてくださいたいです。
(六ツ川大池囃子 代表 田中様)

自ら伝承活動の場を得ようとする姿勢が素敵だね!



学んで・歩いて・見つける南区の魅力

横浜みなみ ガイドボランティアの会 南区文化賑わい支援補助金

区内 まち歩き：年6回



横浜みなみ ガイドボランティアの会では、南区の隠れた歴史や魅力を歩いて知って、南区を好きになってもらおうと、まち歩きなどの活動を行っている。平成23年のみなみ市民活動・多文化共生ラウンジの講座「歩いてさがそう南区の魅力」をきっかけに集まった仲間が中心となって会が作られ、今では月1回、16人のメンバーで活動中。

年に6回行われるまち歩きのイベントのため、日頃はまちの歴史を調べたり、より魅力的なルートを検討したりしている。熟考されたイベントにはリピーターも多いうえ、最近では区内施設からの依頼も増えている。

会としての歴史は始まったばかりだが、南区の「歴史的建造物」「老舗の銘菓」「おすすめの眺望」案内には自信があるという。



起伏に富んだ7つの丘からの眺望、鎌倉古道や大岡川・中村川流域の史跡類、下町情緒の商店街等、身近にある南区の魅力満載でかつ安全第一のまち歩きを企画し実施します。
“さあ 家を飛び出し何かを見つけに歩きますか”
(横浜みなみ ガイドボランティアの会 代表 柴澤様)

会のイベントに加え、区内施設との連携企画もしているなんて凄い!



地域の笑顔をお届け 南区ソーシャルマガジン

キラリ

南の風はあったかい

相手を思いやりながら
さまざまな工夫をこらしながら
つながりを持ちながら

「キラリ」では
そんな素敵な取組を御紹介します



◆南太田地域交流事業会

南太田小学校PTAおやじの会と太田地区町内連合会が連携し、世代交流を目的とした活動に取り組んでいます。清々しい笑顔を見せるのは、活動を支える“南太田のおやじ”。南太田小学校の教室の壁塗りをし、生徒から感謝状をいただいたそうです。詳しい様子は次号をお楽しみに。

「5」のつく日が待ち遠しい みんなの憩いの場

みつが丘カフェサロン みなみ・ちからアップ補助金

本大岡 毎月5・15・25日（講座等）+月2回（健康体操）

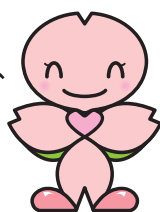


大岡一丁目、丘の上で坂道が多く、自治会館のない「みつが丘」。外出が不便になりつつある高齢者が孤立してしまうのではないかと、住民がもっと気軽に交流できる場をつくりたい、そんな思いでサロンを立ち上げた。サロンでは、毎月「5」のつく日に非常食の作り方など身近なテーマについての講座や茶話会を開催している。また、みつが丘の歴史を辿る「みつが丘物語」を作成している。

今では、地域の学校や弘明寺商店街のお店とも関係が築かれつつあり、この日は横浜総合高校ボランティア部の生徒さんが子どもたちに紙芝居の読み聞かせをしていた。子どもも大人も熱心に耳を傾け、笑顔があふれる。これからも、多世代が集まるみんなの憩いの場にしていきたい。

サロンを立ち上げて2年目。9名のスタッフとおしゃべりを楽しみながら、「お互いさま」を合言葉に月一回ミーティングを開いています。参加して下さる方々が「また、出かけよう!」と思っただけのよう工夫を重ねています。
(みつが丘カフェサロン 代表 辻様)

自ら出向いて情報を集め、人とつながり、サロンに活かす。すばらしい!



あじさいと笑顔あふれるまちづくり

南中あじさい咲かせ隊 みなみ・ちからアップ補助金

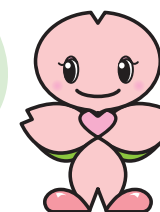
六ツ川・井土ヶ谷・南永田山王台・本大岡 毎週金曜日

南中学校の周辺を中心に地域全体が「あじさいの里、名所」となることを目指し、あじさい約50種500株を育てている。南中学校からの声掛けで、平成24年頃から地域と生徒と一緒に水やりや苗植え、挿し芽などを行うようになった。これまで南中学校の周辺のほか、平戸桜木道路の街路樹柵や京浜急行沿線の植栽を進めた。また、各家庭の緑化支援となるよう花苗・鉢植えの配布を行っており、昨年6月の南中学校70周年記念式典においても出席者に苗をお渡しした。

学校と連携し日々の作業や研修会を重ねることで、生徒の緑化への関心を高めるとともに、生徒との信頼関係も築かれており、今では学校の外で会った時も生徒から挨拶をしてくれる。これからも生徒と一緒に緑と笑顔あふれるまちづくりを進めていく。

“育てる人を育てていこう”。あじさいの育成も大切ですが、生徒さんの3年間の学生生活の中で少しでも記憶に残れば良いなどと思っています。我々も高齢なので、楽しい企画もしながら担い手を増やしていきたいです。
(南中あじさい咲かせ隊 山之城様)

あじさいを中心にできた地域と生徒の輪*すてきな財産だね!



赤ちゃんからお年よりまで 賑わいのあるまちづくり

永田みなみ台まちづくり運営委員会 みなみ・ちからアップ補助金

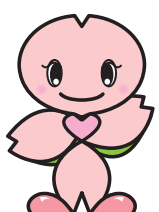
永田みなみ台 「つながり祭」偶数月の第3土曜日 ※変更の場合あり

京急弘明寺駅から徒歩 20 分の地にある南永田団地。かつては若い住民で賑わい、団地内の商店街には色々なお店が入っていたが、今は数店舗のみとなっている。住民からは「さみしいね、昔のような賑やかな街が懐かしいね」という声が多く上がっていた。

そこで、商店街の空き店舗を活用した住民の憩いの場所づくりに向けて、具体的に話し合いを進めている。まずは賑わいを創出できるイベントをしようと、空き店舗を借り「つながり祭」を年6回開催している。「つながり祭」では、自治会や商店街、小・中学校をはじめ地域の様々な団体と連携し、バザーや模擬店、演奏会などを実施。昔遊びのコマ回しや輪投げで遊ぶ子どもたち、演奏会を楽しみに来た大人たちで賑わい、あったかい空気が流れている。

まちの活性化の一環として始めた「つながり祭」も回を重ねるごとに賑わいと人々の交流も増し、みなみ・ちからアップ補助金で購入した模擬店用資材や昔遊び用具が大いに活躍しています。
(永田みなみ台まちづくり運営委員会 事務局 渡辺様)

学校や施設とつながり活動を次々に展開。まさに「つながり祭」だね!



自宅開放型 参加者みんなで運営する 丘の上のサロン

サロン「花もよう」 チャレンジ支援事業助成金

中村 毎週月曜日午後、第2・第4金曜日午前

中村地区の丘、唐沢に平成29年6月、サロン「花もよう」がオープン。地域住民の交流の場を通して「住民同士の顔の見える関係づくり」「健康の維持」を目的に、約20名の実行委員で運営している。健口（けんこう）体操、小物作り、手話など委員や参加者が特技を活かして講師役を担い、交流を深めている。「みんなが気軽に集まれる場所をつくりたい」と実行委員が自宅の1階を会場として提供している。

地域の方々にもっとサロンを知っていただきたいと、年に数回はスペシャルゲストを招いてのイベントを企画している。「みんなの居場所をみんなで創る」をモットーに、試行錯誤ではあるがちょっとした意見やアイデアを大切にしながら、より良い活動に結びつけられるよう工夫の最中である。

サロンがオープンしてから10か月。地域に根ざした、誰もが楽しく集えるサロンとなるよう、ひとりひとりがサロン「花もよう」の一片になって、どんな「模様」を描き上げていくか、皆で楽しみにしています。
(サロン「花もよう」会長 山田様、顧問 内田様、総務 鈴木様)

みんなの秘めたパワーを引き出すサロンだね。広げよう「お花のもよう」!!

